

# 市内小・中学校の規模及び配置の適正化に向けて ～大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画を中心に～

大船渡市

## これまでの主要経過

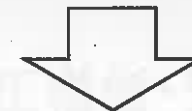
H26年10月 大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会設置  
※市内各種団体の代表、学識経験者、学校関係者等で構成



27年11月 大船渡市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る市への提言書提出



27年12月 大船渡市立小・中学校適正規模等基本方針策定



29年 2月 大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画策定

## 平成28年度 基本計画策定経過

区 分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
適正規模・適正配置基本計画 策定委員会 ※ 庁内組織		5回開催 (7/28、8/22、9/20、11/24、1/31)						
適正規模等検討委員会 ※ 新たに関係団体の代表や 学校関係者等で設置		4回開催(8/8、8/25、10/4、11/15)						
教育委員会定例会		7回開催 (8/23、9/27、10/25、11/29、12/21、1/20、2/10)						
市民ニーズの把握			→			→		
			地区公民館、PTA会長か らの意見聴取			パブリックコメント (12/20～1/16) 4件		
市広報掲載			● 9/20			● 12/20		
			基本計画策定着手、学校の小規模化の 進行、規模の適正化の必要			基本計画案の概要、パブ リックコメントの告知		
市議会全員協議会						● 12/9		

## 計 画 期 間

H29 (2017)	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	34 (2022)	35 (2023)	36 (2024)	37 (2025)	38 (2026)

- ・ 児童生徒数の将来推計、学級編制の基準の制度改正等により、必要に応じて見直しを図る。
- ・ 地域から要望等があった場合には、柔軟かつ迅速に対応する。

## 生徒数の推計

学校名	年 度 ※上段は平成、下段の( )内は西暦													減少数 (H40-H28)	減少率 (H40/H28)	
	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	34 (2022)	35 (2023)	36 (2024)	37 (2025)	38 (2026)	39 (2027)	40 (2028)			
第一中	生徒数	357	344	348	337	317	316	315	319	309	316	319	327	353	△ 4	△ 1.1
	学級数	12	11	11	10	9	10	10	9	10	11	10	10	11		
大船渡中	生徒数	219	182	161	171	181	173	152	149	145	138	120	130	119	△ 100	△ 45.7
	学級数	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	4		
末崎中	生徒数	92	98	88	78	68	65	68	62	70	62	62	62	63	△ 29	△ 31.5
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
赤崎中	生徒数	77	71	66	63	54	58	54	63	56	62	53	55	43	△ 34	△ 44.2
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
日頃市中	生徒数	32	30	34	36	36	33	39	39	40	34	30	26	28	△ 4	△ 12.5
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
綾里中	生徒数	61	66	58	55	44	51	46	50	48	47	42	44	53	△ 8	△ 13.1
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
越喜来中	生徒数	56	47	47	43	46	42	42	41	43	47	52	43	40	△ 16	△ 28.6
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
吉浜中	生徒数	30	38	35	36	30	31	28	28	22	24	19	22	19	△ 11	△ 36.7
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
中学校計	生徒数	924	876	837	819	776	769	744	751	733	730	697	709	718	△ 206	△ 22.3
	学級数	38	35	35	34	33	34	34	33	34	35	33	34	33		

注1) 「生徒数」に特別支援学級の生徒も含む。

2) 「学級数」に特別支援学級は含まない。

3) 平成29(2017)年度以降の生徒数及び学級数は、学校教育課の推計値。

## 児童数の推計

学 校 名		年 度 ※上段:平成、下段の( )内は西暦						増減数 (H34-H28)	増減率 (H34/H28)	
		28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)			34 (2022)
盛小	児童数	133	133	126	130	135	127	148	15	11.3
	学級数	6	6	6	6	6	6	7		
大船渡小	児童数	154	155	141	128	120	123	117	△ 37	△ 24.0
	学級数	6	6	6	6	6	6	6		
末崎小	児童数	146	130	135	130	124	132	125	△ 21	△ 14.4
	学級数	6	6	6	6	6	6	6		
赤崎小	児童数	71	117	114	116	116	111	105	△ 12	△ 10.3
	学級数	6	6	6	6	6	6	6		
蛸ノ浦小	児童数	46								
	学級数	6								
猪川小	児童数	320	322	316	315	310	330	324	4	1.3
	学級数	12	12	12	12	12	12	12		
立根小	児童数	199	181	183	186	193	179	197	△ 2	△ 1.0
	学級数	8	7	8	7	7	7	7		
日頃市小	児童数	75	75	73	73	69	66	62	△ 13	△ 17.3
	学級数	6	6	6	6	6	6	5		
大船渡北小	児童数	169	175	177	162	149	152	140	△ 29	△ 17.2
	学級数	7	7	7	6	6	6	6		
綾里小	児童数	101	94	99	93	92	92	100	△ 1	△ 1.0
	学級数	6	6	6	6	6	6	6		
越喜来小	児童数	85	87	85	89	93	86	87	2	2.4
	学級数	6	6	6	6	6	6	6		
吉浜小	児童数	64	58	53	52	47	44	43	△ 21	△ 32.8
	学級数	6	5	5	4	4	5	4		
小学校計	児童数	1,563	1,527	1,502	1,474	1,448	1,442	1,448	△ 115	△ 7.4
	学級数	81	73	74	71	71	72	71		

注1) 「児童数」に特別支援学級の児童も含む。

2) 「学級数」に特別支援学級は含まない。

3) 「増減数」及び「増減率」欄のうち赤崎小は、平成28(2016)年の蛸ノ浦小分を含む。

4) 平成29(2017)年度以降の児童数及び学級数は、学校教育課の推計値。

## 小規模校のメリットとデメリット

※「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」(平成27年1月27日 文部科学省)より

メリッ ト	デメリ ット
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 一人ひとりの学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めてきめ細かな指導が行いやすい</li> <li>② 意見や感想を公表できる機会が多くなる</li> <li>③ 様々な活動において、一人ひとりがリーダーを務める機会が多くなる</li> <li>④ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる</li> <li>⑤ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える</li> <li>⑥ 教材・教具などを一人ひとりに行き渡らせやすい</li> <li>⑦ 異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる</li> <li>⑧ 地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい</li> <li>⑨ 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① クラス替えが全部又は一部の学年でできない</li> <li>② クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない</li> <li>③ 加配なしには、習熟度別指導などクラスの枠を越えた多様な指導形態がとりにくい</li> <li>④ クラブ活動や部活動の種類が限定される</li> <li>⑤ 運動会、文化祭、遠足、修学旅行等の集団活動、行事の教育効果が下がる</li> <li>⑥ 男女比の偏りが生じやすい</li> <li>⑦ 上級生、下級生間のコミュニケーションが少なくなる、学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる</li> <li>⑧ 体育科の球技や音楽科の合唱、合奏のような集団学習の実施に制約が生じる</li> <li>⑨ 班活動やグループ分けに制約が生じる</li> <li>⑩ 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる</li> <li>⑪ 教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる</li> <li>⑫ 生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける</li> <li>⑬ 児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる</li> <li>⑭ 教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎる</li> </ul>

## 中学校における学校規模の方針

自我の形成が固まりつつあるとともに、対人関係の広がりや社会性の醸成など多様な生活が求められる時期

自主性に基づく本格的な集団活動への適応や部活動への取組など、社会や同級生、同年代との係わり方が重要な要素を占める時期

免許外申請による許可を受けた専門外の教科担任が増えることへの懸念



原則として、各学年2学級以上



## 平成29年度市内中学校部活動所属調査結果①

<中体連まで (1~3学年)>

区 分		第一	大船渡	末崎	赤崎	日頃市	綾里	越喜来	吉浜	
運動系	男子競技	軟式野球	26(2)	18	14(1)	13	11(1)	19		17
		サッカー	33(2)	10		9				
		バレーボール	21	2						
		バスケットボール	19	10	24					
		ソフトテニス	21	20		9		8	8	
		卓球	13	10	8				5	
		柔道	14	6						
		剣道			9					
	女子競技	バレーボール	12	12		11	2	12	4	13
		バスケットボール	25	14	13					
		ソフトテニス	23	21	21	13		15	11	
		卓球	30	17	3		12	7	8	
		バドミントン				12				
剣道		5	5							
文化系	男女混合	吹奏楽	32(27)	21(21)						
		文化	50(29)	10(6)	1(0)	7(6)	4(1)	5(2)	6(5)	8(5)
無所属		18(4)	2(1)					5(0)		

注) ( )内は女子の人数

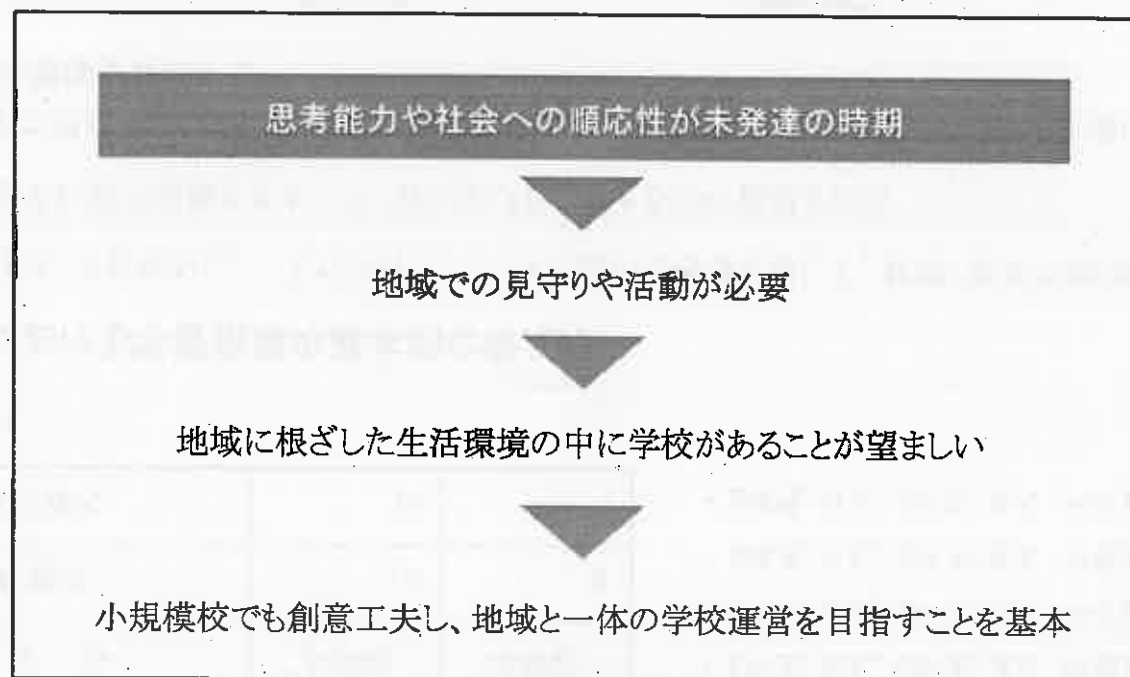
## 平成29年度市内中学校部活動所属調査結果②

### <中体連以後 (1・2学年)>

区 分			第一	大船渡	末崎	赤崎	白頃市	綾里	越喜来	吉浜
運動系	男子競技	軟式野球	17(2)	11	9(1)	10	7(1)	12		13
		サッカー	21(1)	2		8				
		バレーボール	21	2						
		バスケットボール	14	8	16					
		ソフトテニス	17	11		3		8	8	
		卓球	10	8	5				2	
		柔道	5	5						
		剣道			6					
	女子競技	バレーボール	6	6		9	1	11	1	10
		バスケットボール	16	9	8					
		ソフトテニス	12	14	15	7		9	7	
		卓球	16	8	2		9	2	3	
		バドミントン				10				
		柔道	5	4						
文化系	男女混合	吹奏楽	22(18)	10(10)						
		文化	34(20)	7(4)	1(0)	5(4)	3(0)	3(0)	5(4)	5(2)
無所属			14(3)	1(0)					1(0)	

注) ( )内は女子の人数

## 小学校における学校規模の方針



- ・ 原則として、各学年1学級以上。
- ・ しかし、教育の質的向上の観点から、複式学級の措置は可能な限り行わない。複式学級が継続する見込みの場合、近隣の学校との統合を検討。
- ・ 複式学級の措置がとられていない場合でも、一定程度の集団を形成することで教育環境に良い影響が与えられ、保護者をはじめ地域住民の理解が得られると判断した場合、積極的に統合を推進。

## 複式学級とは

### □ 定義

「第3学年と第4学年の学級」のように、引き続き複数の学年の児童生徒で編制される学級のことを指し、1学級当たりの児童生徒数が次の人数以下の場合に導入

※ 岩手県学級編制基準

区 分	小学校	中学校
1年を含む複式	8	8
上記以外の複式	16	—

[小学校の場合]

- ・ 1年生:5人、2年生:3人 ⇒複式
- ・ 1年生:4人、2年生:5人 ⇒それぞれ単式
- ・ 2年生:8人、3年生:8人 ⇒複式
- ・ 2年生:9人、3年生:8人 ⇒それぞれ単式

### □ 複式学級における学習指導の基本的な考え方

- ・ 少人数であることを生かし、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を通して、基礎・基本の確実な定着を図る
- ・ 数多くの自学自習の経験を生かして、自ら学び自ら考える力の育成を図る
- ・ 2つの学年の児童生徒で構成されていることを生かし、上の学年と下の学年との係わりを通して、学年を越えて学び合う態度を育成する

## 複式学級1単位時間の学習活動の展開例

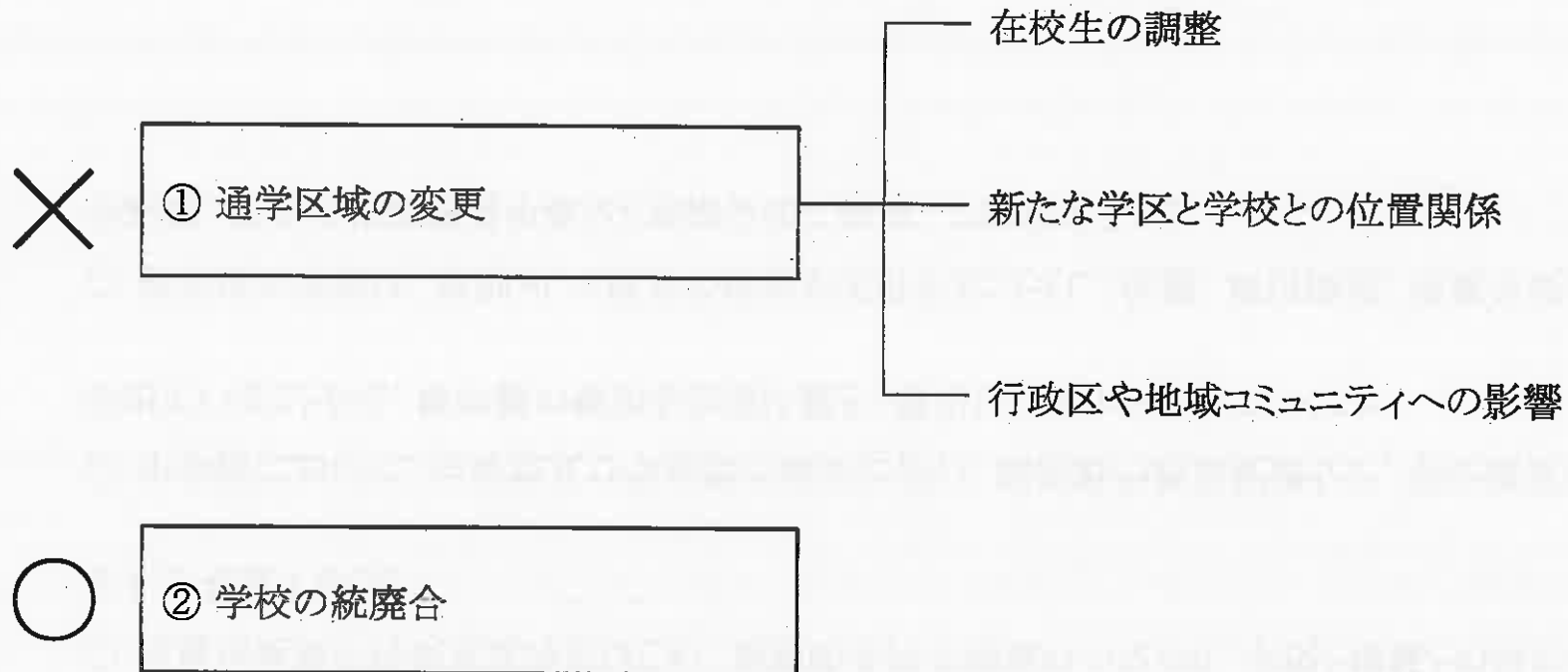
下学年		教師の動き (指導)		上学年	
段階	学習活動			学習活動	段階
間接把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を想起する</li> <li>・解決の見通しを持つ</li> <li>・解決の手順を理解する</li> </ul>	直接	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で学習した結果を利用して、練習問題や発展問題に取り組む</li> </ul>	習熟・活用
解決努力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で解決に取り組む</li> <li>・ペアまたはグループで確かめ合う</li> </ul>	間接	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を想起する</li> <li>・解決の見通しを持つ</li> <li>・解決の手順を理解する</li> </ul>	問題把握
定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決の道筋と結果を発表する</li> <li>・どの方法がよりよい方法かを話し合う</li> <li>・学習を振り返る まとめる</li> </ul>	直接	間接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で解決に取り組む</li> <li>・ペアまたはグループで確かめ合う</li> </ul>	解決努力
習熟・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめた結果を利用して、練習問題や発展問題に取り組む</li> <li>・次時の学習への期待を持つ</li> </ul>	間接	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決の道筋と結果を発表する</li> <li>・どの方法がよりよい方法かを話し合う</li> <li>・学習を振り返る まとめる</li> </ul>	定着

## 複式学級の課題

直接指導と間接指導を組み合わせ、複数学年を教師が行き来しながら指導する必要がある場合が多いことから、次のような問題も生じ得ることが指摘されている。

- ・ 教師に特別な指導技術が求められる
- ・ 複数学年分や複数教科分の教材研究・指導準備を行うこととなり、教員の負担が大きい
- ・ 実験や観察など、長時間の直接指導が必要な活動に制約が生じる
- ・ 直接指導と間接指導の組合せに伴い、実質的な指導時間が減少する など

## 学校規模の適正化の手法



## 学校統廃合に係る基本方針

- 児童生徒数の将来見込みをはじめ、地理的条件や地域のつながり、学校と地域との係わりなどを十分考慮すること
- 中学校において、生徒数及び学級数の減少に伴い、部活動や教員配置など、学校運営に影響が出ていることから、単学級の解消を念頭に置き、優先して統合を進めていくこと
- 統合後の学校は、原則として既存の校舎を活用することとし、位置、周辺環境、児童生徒の通学距離、校舎の建築経過年数などを総合的に勘案して決定すること



## 統合検討対象校

### ○ 中学校

判断基準	第一	大船渡	末崎	赤崎	日頃市	綾里	越喜来	吉浜
平成29年度以降、1学年当たり1学級が続くと見込まれる			○	○	○	○	○	○
平成28年度と比較し、平成40年度の生徒数の減少率が20%以上と見込まれる		○	○	○			○	○

### ○ 小学校

判断基準	盛	大船渡	末崎	赤崎	猪川	立根	日頃市	大船渡北	綾里	越喜来	吉浜
平成34年度までに複式学級の導入が見込まれる							○				○
平成28年度と比較し、平成34年度の児童数の減少率が20%以上と見込まれる		○									○

# 中学校の方向性



# 小学校の方向性



# 第一中学校と日頃市中学校との統合

## 第一中学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	110	4	114	4	104	3	92	3	115	4	105	3	97	3	107	4	112	4	100	3	115	4	138	4
2年	113	4	110	4	114	4	104	3	92	3	115	4	105	3	97	3	107	4	112	4	100	3	115	4
3年	112	3	113	3	110	3	114	3	104	3	92	3	115	3	105	3	97	3	107	3	112	3	100	3
計	335	11	337	11	328	10	310	9	311	10	312	10	317	9	309	10	316	11	319	10	327	10	353	11

日頃市中学校 各学年1学級が継続。生徒数は、30人前後で推移。

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	13	1	13	1	9	1	12	1	10	1	16	1	13	1	11	1	10	1	9	1	7	1	12	1
2年	7	1	13	1	13	1	9	1	12	1	10	1	16	1	13	1	11	1	10	1	9	1	7	1
3年	9	1	7	1	13	1	13	1	9	1	12	1	10	1	16	1	13	1	11	1	10	1	9	1
計	29	3	33	3	35	3	34	3	31	3	38	3	39	3	40	3	34	3	30	3	26	3	28	3

## ◎ 第一中学校＋日頃市中学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	123	4	127	4	113	4	104	3	125	4	121	4	110	4	118	4	122	4	109	4	122	4	150	5
2年	120	4	123	4	127	4	113	4	104	3	125	4	121	4	110	4	118	4	122	4	109	4	122	4
3年	121	4	120	4	123	4	127	4	113	4	104	3	125	4	121	4	110	4	118	4	122	4	109	4
計	364	12	370	12	363	12	344	11	342	11	350	11	356	12	349	12	350	12	349	12	353	12	381	13

注) 生徒数及び学級数は通常の学級分のみとし、特別支援学級分は含まない。以降、小学校の場合も同様。

# 大船渡中学校と末崎中学校との統合

注) 生徒数の減少率はH40とH29の比較

大船渡中学校 生徒数:32.8%減。学級数:H38から1学年1学級の学年が出る見込み。

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	47	2	49	2	70	2	58	2	41	2	51	2	55	2	39	2	44	2	37	2	49	2	33	1
2年	59	2	47	2	49	2	70	2	58	2	41	2	51	2	55	2	39	2	44	2	37	2	49	2
3年	71	2	59	2	47	2	49	2	70	2	58	2	41	2	51	2	55	2	39	1	44	2	37	1
計	177	6	155	6	166	6	177	6	169	6	150	6	147	6	145	6	138	6	120	5	130	6	119	4

末崎中学校 生徒数:33.7%減。学級数:各学年1学級が継続。

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	32	1	23	1	22	1	22	1	20	1	25	1	17	1	28	1	17	1	17	1	28	1	18	1
2年	31	1	32	1	23	1	22	1	22	1	20	1	25	1	17	1	28	1	17	1	17	1	28	1
3年	32	1	31	1	32	1	23	1	22	1	22	1	20	1	25	1	17	1	28	1	17	1	17	1
計	95	3	86	3	77	3	67	3	64	3	67	3	62	3	70	3	62	3	62	3	62	3	63	3

◎ 大船渡中学校+末崎中学校 生徒数:33.1%減。学級数:当面、1学年複数クラスが継続。

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	79	3	72	3	92	3	80	3	61	2	76	3	72	3	67	2	61	2	54	2	77	3	51	2
2年	90	3	79	3	72	3	92	3	80	3	61	2	76	3	72	3	67	2	61	2	54	2	77	3
3年	103	3	90	3	79	3	72	2	92	3	80	2	61	2	76	2	72	2	67	2	61	2	54	2
計	272	9	241	9	243	9	244	8	233	8	217	7	209	8	215	7	200	6	182	6	192	7	182	7

## 赤崎中学校と綾里中学校との統合

注) 生徒数の減少率はH40とH29の比較

**赤崎中学校** 生徒数: 36.8%減。学級数: 各学年1学級が継続。

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	23	1	17	1	21	1	16	1	20	1	17	1	25	1	14	1	23	1	16	1	16	1	11	1
2年	24	1	23	1	17	1	21	1	16	1	20	1	17	1	25	1	14	1	23	1	16	1	16	1
3年	21	1	24	1	23	1	17	1	21	1	16	1	20	1	17	1	25	1	14	1	23	1	16	1
計	68	3	64	3	61	3	54	3	57	3	53	3	62	3	56	3	62	3	53	3	55	3	43	3

**綾里中学校** 生徒数: 18.5%減。学級数: 各学年1学級が継続。

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	25	1	13	1	17	1	14	1	20	1	12	1	18	1	18	1	11	1	13	1	20	1	20	1
2年	20	1	25	1	13	1	17	1	14	1	20	1	12	1	18	1	18	1	11	1	13	1	20	1
3年	20	1	20	1	25	1	13	1	17	1	14	1	20	1	12	1	18	1	18	1	11	1	13	1
計	65	3	58	3	55	3	44	3	51	3	46	3	50	3	48	3	47	3	42	3	44	3	53	3

◎ **赤崎中学校＋綾里中学校** 生徒数: 27.8%減。学級数: 各年度で、ほぼ1学年複数クラスの学年あり。

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	48	2	30	1	38	2	30	1	40	2	29	1	43	2	32	1	34	1	29	1	36	2	31	1
2年	44	2	48	2	30	1	38	2	30	1	40	2	29	1	43	2	32	1	34	1	29	1	36	2
3年	41	2	44	2	48	2	30	1	38	1	30	1	40	1	29	1	43	2	32	1	34	1	29	1
計	133	6	122	5	116	5	98	4	108	4	99	4	112	4	104	4	109	4	95	3	99	4	96	4

## 越喜来中学校の生徒数及び学級数の推移予測

### 越喜来中学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	11	1	18	1	12	1	16	1	13	1	12	1	15	1	16	1	16	1	20	1	7	1	13	1
2年	16	1	11	1	18	1	12	1	16	1	13	1	12	1	15	1	16	1	16	1	20	1	7	1
3年	16	1	16	1	11	1	18	1	12	1	16	1	13	1	12	1	15	1	16	1	16	1	20	1
計	43	3	45	3	41	3	46	3	41	3	41	3	40	3	43	3	47	3	52	3	43	3	40	3

生徒数は40人台で推移

《前期～後期》  
他校との統合を検討・実施

※ 校舎及び体育館は、ともに昭和33年3月建築で、平成29年3月末現在で築59年経過。耐震改修済み。

## 吉浜中学校の生徒数及び学級数の推移予測

### 吉浜中学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)		H35年度 (2023)		H36年度 (2024)		H37年度 (2025)		H38年度 (2026)		H39年度 (2027)		H40年度 (2028)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1年	16	1	7	1	11	1	11	1	8	1	8	1	12	1	2	1	10	1	7	1	5	1	7	1
2年	10	1	16	1	7	1	11	1	11	1	8	1	8	1	12	1	2	1	10	1	7	1	5	1
3年	10	1	10	1	16	1	7	1	11	1	11	1	8	1	8	1	12	1	2	1	10	1	7	1
計	36	3	33	3	34	3	29	3	30	3	27	3	28	3	22	3	24	3	19	3	22	3	19	3

生徒数は平成34(2022)年度頃から20人台、平成40(2028)年度には、20人を割り込む見込み

《前期～後期》  
他校との統合を検討・実施



# 越喜来中学校の方向性



# 吉浜中学校の方向性



## 大船渡小学校と大船渡北小学校との統合

大船渡小学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	28	1	11	1	17	1	18	1	26	1	17	1
2年	23	1	28	1	11	1	17	1	18	1	26	1
3年	23	1	23	1	28	1	11	1	17	1	18	1
4年	26	1	23	1	23	1	28	1	11	1	17	1
5年	29	1	26	1	23	1	23	1	28	1	11	1
6年	23	1	29	1	26	1	23	1	23	1	28	1
計	152	6	140	6	128	6	120	6	123	6	117	6

注) 児童数の減少率はH34とH29の比較

児童数: 23.0%減  
学級数: 各学年1学級が継続

大船渡北小学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	27	1	28	1	27	1	19	1	23	1	16	1
2年	28	1	27	1	28	1	27	1	19	1	23	1
3年	18	1	28	1	27	1	28	1	27	1	19	1
4年	32	1	18	1	28	1	27	1	28	1	27	1
5年	41	2	32	1	18	1	28	1	27	1	28	1
6年	25	1	41	2	32	1	18	1	28	1	27	1
計	172	7	174	7	160	6	147	6	152	6	140	6

児童数: 18.6%減  
学級数: 各学年1学級が継続

◎ 大船渡小学校 + 大船渡北小学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	55	2	39	2	44	2	37	2	49	2	33	1
2年	61	2	55	2	39	2	44	2	37	2	49	2
3年	41	2	61	2	55	2	39	2	44	2	37	2
4年	58	2	41	2	51	2	55	2	39	2	44	2
5年	70	2	58	2	41	2	51	2	55	2	39	2
6年	49	2	70	2	58	2	41	2	51	2	55	2
計	324	12	314	12	288	12	267	12	275	12	257	11

児童数: 20.7%減  
学級数: ほぼ各学年2学級で推移

## 日頃市小学校の児童数及び学級数の推移予測

### 日頃市小学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	13	1	11	1	10	1	9	1	7	1	12	1
2年	16	1	13	1	11	1	10	1	9	1	7	1
3年	10	1	16	1	13	1	11	1	10	1	9	
4年	12	1	10	1	16	1	13	1	11	1	10	1
5年	9	1	12	1	10	1	16	1	13	1	11	1
6年	13	1	9	1	12	1	10	1	16	1	13	1
計	73	6	71	6	72	6	69	6	66	6	62	5

児童数は微減で推移。平成34(2022)年度に複式学級が1学級発生する見込み。

《後期》  
今後の児童数の推移を注視し、状況によって他校との統合を検討・実施

※校舎及び体育館は、耐震改修済み

# 日頃市小学校の方向性



## 吉浜小学校の児童数及び学級数の推移予測

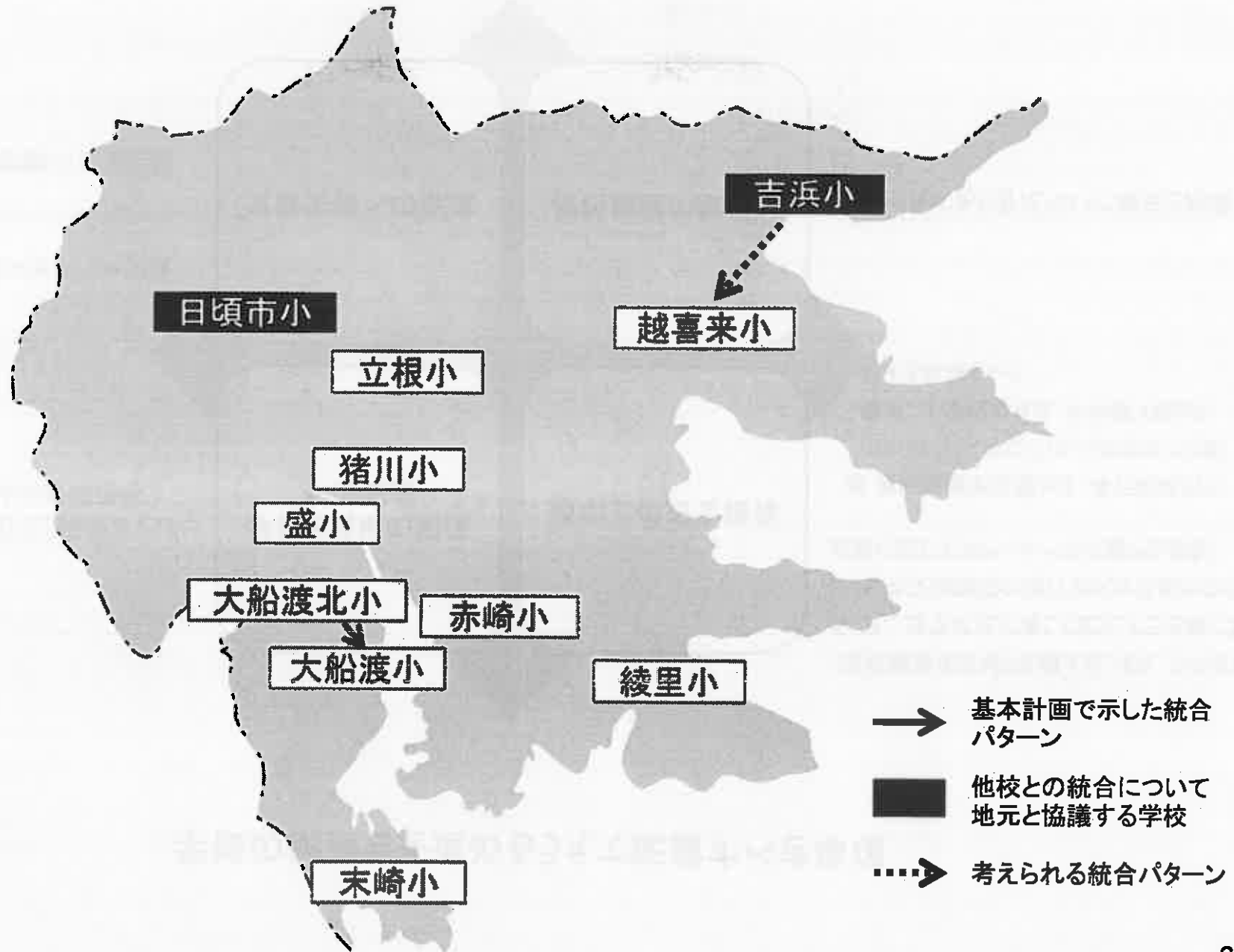
### 吉浜小学校

学年	H29年度 (2017)		H30年度 (2018)		H31年度 (2019)		H32年度 (2020)		H33年度 (2021)		H34年度 (2022)	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	12	1	2	1	10	1	7	1	5	1	7	1
2年	8	1	12	1	2	1	10	1	7	1	5	1
3年	8		8	1	12		2		10	1	7	
4年	11	1	8		8	1	12	1	2		10	1
5年	11	1	11	1	8		8	1	12	1	2	
6年	7	1	11	1	11	1	8		8	1	12	1
計	57	5	52	5	51	4	47	4	44	5	43	4

児童数は微減で推移し、複数の学年で10人を割り込むと予測。  
実質的に、平成29(2017)年度から複式学級が発生。平成31  
(2019)年度には、複式学級が2学級発生する見込み。

《前期～後期》  
他校との統合を検討

# 吉浜小学校の方向性



## 学校の統廃合を進めるうえで配慮すべき事項

説明会を通じて、保護者をはじめ、地域住民との共通理解

学校と地域の関係  
への配慮

通学上の安全確保

遠距離通学区域※を越える、また、この区域外でも、通学状況が著しく変化する地域に関し、公共交通機関の運行状況を見極めながら、必要に応じてスクールバスの運行を検討

※ 遠距離通学区域とは、各行政区内の中心地(バス停など)から学校までの距離が、小学校で4km、中学校で6kmを越える区域をいう

スクールカウンセラーや相談員の活用

児童生徒への配慮

廃校施設の取扱い

廃校後のあり方について地元と協議

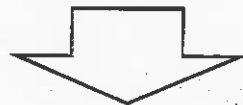
統合前に学校間の交流活動を実施



## 段階的な話し合い

### 地元説明会の開催

(保護者をはじめ、地域住民を対象)



### 地元関係団体の代表等による協議組織の設置

(統合の可否について議論)



### 統合推進組織の設置

(校名や校歌、校章など、統合に必要な事項について協議)

